



関中央ロータリークラブ

2019-2020 WEEKLY REPORT

例会日：毎週木曜日 18時30分 例会場：関観光ホテル 住所：岐阜県関市池尻 91-2
事務局：関市西本郷通 5-2-53 TEL (0575) 24-7332 FAX (0575) 23-5278
会長 吉田和也 副会長 高井良祐 幹事 土屋敏幸 クラブ会報委員長 長谷川修

2019~2020年度 関中央ロータリークラブ会長テーマ

「One for all, All for one.

協力しあい成長するロータリー！」



4つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

新型コロナウイルス感染症対応原稿例会 第2010回例会 2020年6月25日(木)

本日のプログラム テーマ「今年度の反省と次年度への提言」 / 担当 会長・副会長

*会長あいさつ 吉田和也会長

入梅となり、蒸し暑い日が続いております。まだ暑さに体が慣れておらず、新しい生活様式の中、マスクを着用しながらの生活で、熱中症等大変心配ではございますが、皆さま体調管理には十分ご留意され過ぎますようお願い申し上げます。

新型コロナウイルスの感染の影響で、3月から例会が開催できず、5月からはこのように原稿での例会を開催させていただいておりますが、本日は、今年度最後の例会となってしまいました。皆様のお顔を拝見できず、今年度の例会を終了することは大変残念でなりません。本来であれば最終の例会は「クラブ創立記念例会」といたしまして、皆さまと楽しく会食をして締めくくるはずでしたが、現状では致し方ないとあきらめまして、後ほど「今年度の反省と次年度への提言」ということで、原稿を掲載させていただきますのでよろしくお願い致します。

この様な状況の中ではございましたが、クラブの主たる事業は新型コロナウイルスの感染が始まる前

に終了することができ、とりあえず何よりではなかったかと思っております。この事業に対してのお話は後ほどさせていただくといたしまして、この度会長を仰せつかったことで、ロータリーの事だけでは無く、私の人生において本当に良い経験と勉強になりました。この経験をさせていただいた事は、今後の人生において、必ず起こる様々な問題や困難などに対する、最適な判断をしなければならぬ場面で、その場その状況においての指針を立てる際の参考になると思っております。誠に良い経験をさせていただき有難うございました。本当に未熟者で、ロータリーの理解も浅い私がこのように会長を務めさせていただいたのは、理事役員をはじめ会員の皆様方、又事務局のご協力のお陰と本当に感謝しております。

次年度は、今回の新型コロナウイルスの感染の影響で、関観光ホテルの休業など、混乱する市場の中でのスタートとなり大変なご苦労があるかと思っておりますが、川村新会長をはじめ新理事、役員の皆様、クラブ会員一丸となり協力致しまして、この現状の

中ではございますが、より良いクラブ運営ができるよう祈念致しまして、本日の会長挨拶とさせていただきます。

***テーマ「今年度の反省と次年度への提言」**

吉田 和也会長

本日は今年度最終の例会です。先ほどの挨拶でもお書き致しましたが、皆さまの顔を拝見することなく、今年度の例会を終了するのはとても残念でございますが、本日の担当、会長、副会長の「今年度の反省と次年度への提言」というテーマで原稿卓話をさせていただきますのでよろしくお願い致します。

今年度、7月4日の通常総会での波多野篤志直前会長より伝統ある第43期の関中央ロータリークラブの会長を、大変な緊張と不安の思いの中引き継がせていただき、いよいよ例会やクラブの事業、地区の行事等が、スタートしていきました。

そんな中、今年度はホストをさせていただき行事が二つありました。10月21日に開催致しました「東海北陸道グループ親睦ゴルフ」と11月9日に開催致しました「岐阜県中・東濃地区 IA 協議会」です。

東海北陸道グループ親睦ゴルフは、前回のホストの際、私は親睦委員長をさせていただいておりまして、ゴルフの段取りの方は経験がありましたので、そちらの方はあまり気になりませんでした。今回ホストとしてさせていただくにあたりどうしてもやりたいことがあり、それを皆様のご理解、ご協力のもと行う事が出来たのがとてもよかったと思っております。それは前年度に起こってしまいました関市豪雨災害のチャリティーです。私も災害発生後に、ガレキを運ぶトラックが不足しているので、トラックを持っている人はトラックを持ち込んで搬出のボランティアに来て欲しいと広報で聞きましたので、自社のトラックを持ち込んでボランティアに参加致しました。お手伝いさせて頂いた住宅の中の一軒は、一人暮らしのおばあさんのお宅でした。家電や家具等、家族との思い出が詰まった品々が、泥まみれになってしまっていて廃棄するしかない状況になっており「この先どうしたらいいのか」と非常に落胆されて見えたのが、心に残っております。このような災害を未然に防ぐためと被災地の復興のために、

ハード、ソフトの両面からお使いいただく義援金を参加者皆様のご厚意のもと、当時の中村副市長にお渡しさせていただきました。又、賞品を被災地の特産品にさせていただきました。本当に親睦委員長をはじめ皆様のご協力のもと無事に開催できましたことを誠に感謝いたします。ゴルフの方は名物ホールの18番で12をたたいてしまい、ブービー賞をいただく結果となった事を深く深く反省致しております。

又、岐阜県中・東濃地区インターアクト協議会におきましては、インターアクトクラブの活動というのは、普段の学校での生活や、部活動では体験できない事を、インターアクトクラブの活動を通じて、経験して頂く非常に良い機会だと思います。各高校、活動の内容は様々かと思いますが、奉仕活動を通じて地域の方々と触れ合い、貢献し、繋がりを深めたり、色々な募金活動を通じて、現在世の中が何に困って、何を求めているか考え、広く世界を知る良い機会になると思いますし、又、環境整備や清掃活動等を通じて、現在皆様が生活している地域、果ては、この地球がどんな状態なのかを考え、皆様の次の世代、又その次の世代まで健康な地球の環境を繋げていくにはどうしたら良いのかと考え、実践して頂く機会になると思います。又海外の学生とふれあい、他国の文化や生活や教育等を体験して、生徒諸君が社会人となった時に、必ず出会うグローバル社会に向けて、今、学生生活の間に、何を学び習得するべきかを考えて、将来、この日本を牽引していく人材に育つとても貴重な学習の場だと思います。そのような子供の成長を見届け、お手伝いすることができるロータリークラブは非常にやりがいがあると思います。今回その発表の場のホストをさせていただいたことはとても光栄なことでありました。又会場の設営、事前の打ち合わせなど、インターアクト委員長をはじめ、会員の皆様には大変ご協力をいただきまして無事に開催できましたことを本当に感謝いたします。又、事務局には前年から会場の手配、打合せなど本当にご尽力をいただきまして誠に有難うございました。感謝いたします。

又、財団の補助金事業も前年に引き続き行い、来年度も計画をさせていただいております。この事業

には、ロータリー財団委員会、波多野篤志前会長に大変ご尽力をいただき、開催できましたことを誠に感謝申し上げます。プロジェクト名「森林整備から農業体験を通じて食育を考える。」ということで、地域の小学生や中学生を対象として、NPO 法人子援隊、ヘルシーライフせき様等のご協力を頂いてきました

1. 森林整備を行いながら健全な里山の認識をしてもらい、森、川、海の自然の関わりを学習してもらう。
2. 農業体験の米作りで収穫した米を食してもらい、又こんにやく作り等手造りで食べ物を調理する体験をして、食育の中での自給自足の重要性を学んでもらう。
3. 河川清掃や水質調査を行い、地域の河川の現在の状況を知ることにより、我々が暮らしている地域の自然環境の現状を理解し、自然環境の大切さを学ぶ。
4. 米作りの農業体験を通じて自分たちが普段食している米がどのようにできているかを、田植え体験を行い学習してもらい、食育や環境への意識の向上を図る。

ということで、農業体験につきましては、前年度の5月25日に小川会員の田んぼで田植え体験をしていただき、昼食にバーベキューをして、自然とのふれあいで小川でメダカすくいをしていただきました。子供と親さんが泥まみれになって楽しそうに田んぼに入って田植えをしている姿はとても印象的でしたし、タモをもってメダカを追いかけている姿は現代の子供たちにはない光景で非常に微笑ましいものでした。又それにも増して夢中になってメダカを追いかけている会員の姿も違う意味で微笑ましいものでした。

又、森林整備例会にも来ていただき、こんにやく作りや収穫したお米でのおにぎりを食べていただき、自然の中で栽培したものを調理して食べ物にするという食育や自給自足の経験もしていただけたかと思います。又、昔懐かしいポン菓子を作って食べてもらいました。なかなか火加減やお米の分量など苦戦致しましたが、子供たちにとっては出来上がるときの爆発など珍しいものでよかったのではないかなと思いました。又、自然観察で遊歩道を歩き、自然に

触れ、豊かな里山の重要性について何か感じて頂けたと思います。若干遊歩道というような生易しい箇所ではないところもあり、大変だった記憶がございます。そして、最後に40周年の記念に発刊致しました「森に帰ったクジラ」の絵本をプレゼントさせて頂き、自然環境の重要性を学習していただきました。これらの事に関しまして、子援隊の児童より、先日事務局に感想文を頂いておりますので興味のある方はご覧ください。

又、一人親家庭や子供食堂を対象とした新米の贈り物の事業も行いました。この事業は市役所の方も、今後末永く継続してもらいたいとおっしゃっていただきました。その為に、備品等、予算を付けて用意していくと言われました。私共もそのつもりであるとお答えしてあります。前年度は、非常にたくさんの方がお越しになり、途中でお米が足りなくなり大変だったようですが、今年度は配布の予定していた分が余ってしまいましたので、今後配布のお知らせの方法や時期などを課題として市役所と打ち合わせをしなければいけないのかなと思いました。

又、年が明けて第1回目の新春例会に記念すべき第2000回記念例会が、理事役員のご指導を頂きまして、西田実行委員長のご尽力のもと、関商工吹奏楽部の華々しい演奏に華を添えて頂き開催させていただきました。関市長、パスト会長などのご来賓の皆様のご臨席のもと、盛大に開催できましたことは喜ばしい限りでございました。

今年度は、各種団体や地区の行事などの都合で11月に行事が集中してしまい、皆様には忙しい思いをさせてしまい誠に申し訳ございませんでした。

新型コロナウイルスの感染の影響で、クラブの例会や地区の行事も3月から感染拡大防止のため休会や中止をせざる得ない状況となってしまいました。今年度RIのテーマの「ロータリーは世界をつなぐ」のつながりの部分が例会の休会や行事の中止によって、会員同士の交流もなく、又いろいろな情報もお伝え出来ない状況となってしまいました。ロータリーの基本である自分自身を自己研鑽し、会員の皆様との交流を図る例会がこのような理由から開催できず、つながりを保てないのが非常に残念な状況の中

で、川上クラブ研修リーダーから助言を頂き、このような状況の中でも何かクラブの皆様とつながりが持てるよう、メールやファックスを使用してのオンライン、原稿での例会が開催でき、満足していただけないかもしれませんが、現状の中やれるだけのことはできたのではないかと考えております。又、例会や行事が中止になったので会場費や登録料などの予算が余ってまいりましたので「新型コロナウイルス災害寄付」もさせていただきました。

今年度、ロータリーの基本方針である社会奉仕、職業奉仕の理念の基、この他にもたくさんの活動をさせていただきました。ロータリーの活動は非常に素晴らしいものであると思います。只、この素晴らしい活動も広報して知っていただかなければ世間の皆様には伝わりません。このようなロータリーの活動をマスメディアなどを通じて広報して知っていただくことによりロータリーの知名度も上がり、ロータリーの活動もより活性化し、それにより新入会員の増加につながるよう、各委員会がそれぞれの場所でそれぞれの役割を担い活躍できれば良いなと思います。

次年度は、新型コロナウイルスの感染の影響で3月からの地区の行事の中止の影響で十分な用意もできない中、今後の行事の予定も読めず難しい中、例会場の休業など様々な難問を抱えながら大変な船出となってしましますが、明けぬ夜は無し、上がらぬ雨は無し、と申しますように、ひと段落つけば必ず良い方向に向かっていくと思いますので、それまでは会員一丸となり、川村新会長をお支えしていかなければならないと思います。

先ほどの挨拶でもお書き致しましたが、本当に未熟者で、ロータリーの理解も浅い私がこのように会長を務めさせていただき、本日今年度最後の例会を迎えることができましたのは、幹事、副会長、理事役員をはじめ会員の皆様方、又事務局のご協力のお陰と本当に感謝申し上げます。本日の卓話とさせていただきます。

高井 良祐副会長

関中央RC会員の皆様一年間ご理解とご協力を頂き誠にありがとうございました。

副会長の職務といたしましては会長フォロー、クラブ奉仕部門の各委員会のパイプ役などありましたが、吉田和也会長につきましては若さと日ごろから鍛えられているパワーで一年間一度も休むことなく職務を務められ、会長挨拶も温厚な人柄が溢れる素晴らしいものでした。一度も会長代行を務めることなく一年間過ごすことが出来ました。感謝申し上げます。又、クラブ奉仕部門の各委員につきましては、各委員長様のリーダーシップの下に職務を遂行され無事に一年間終わることが出来ました。特に会員基盤増強維持委員会におかれましては、会員増強に、親睦活動委員会はクリスマスディナーショー等、企画をされ大変楽しいひと時を過ごせ、会員家族の親睦を深めることが出来ました事に感謝申し上げます。今年度は例会 2000 回という記念すべき年となり、西田実行委員長の下、関商工吹奏楽部の演奏、会員 OB の出席もあり、素晴らしい記念例会が出来たと思います。今年度前半はその他のプログラムも事無く行ってこれたと思います。今年度後半は今年に入り新型コロナウイルスの影響で自粛せざるを得ない状況になり通常の例会が出来ませんでした。しかしこれも今後の RC の例会も含め、色々考えるいい機会になったと思います。今年度の反省を述べよという事ですが、一年間終わりを無事に迎えることが出来、良かったという思いです。反省点はありません。

次年度の提言などありません。が自分自身の最近の気付きとでも申しましょうか、いい言葉だと思いましたので、ご紹介させていただきます。比叡山延暦寺を建てた天台宗の開祖 最澄の教え『一隅を照らす』です。地域社会、家庭の中で今、自分がいる場所・立場が一隅です。場所・立場において精一杯の努力をし、ベストを尽くす、その行動が世の中を照らし明るくする一助となるのです。一年間ありがとうございました。

*幹事報告

・美濃RCより第35回岐阜県中・東濃地区インターアクト協議会中止のご案内拝受

<次例会の案内> 第2011回 2020年7月2日(木)

「通常総会」 場所 味のまごころく

担当 会長・幹事・親睦活動委員会